

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	公園管理事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	8 款 5 項 2 目	事業番号	3750	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	久保貴比古	
法令根拠等	都市公園法、伊予市公園条例				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	住みやすい都市空間づくりに努める。						
事業の対象	都市公園及びその他公園の施設利用者			事業の目的	だれもが快適に住みやすい環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。		
事業の内容 (整備内容)	都市公園及びその他公園の維持管理運営			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	28,871	38,068	0	11,363	0	46,999	光熱水費	千円	1057	1511	545	978
国庫支出金		10,671	0	9,000	0	18,000						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		9,800	0	0	0	9,600						
その他	1,778	1,182	0	0	0	1,395						
一般財源	27,093	16,415	0	2,363	0	18,004	修繕費・工事請負費	千円	14644	33518	263	32652
職員の人工(にんく)数	0.70	0.70				0.70						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982	委託料	千円	8817	9809	7048	9790
※ 直接事業費+人件費	34,483	43,655				52,586						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				有料施設利用者数	人	10293	11850	9406	11576
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)						31 年度						
						30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000	
成果指標	指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数				単位	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標 毎 年度	
	指標設定の考え方	快適に利用できる施設環境づくりを目指すためにも、施設の利用者数増が事業の評価と考えた。				⇒	目標	1.01	1.01	1.01	1.01	
	指標で表せない効果						実績	0.95	1.05			

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		五色浜公園内市道内に生えている神社の松の木について、緊急車両等の通行を妨げているので、地元や神社の理解を得て、処分しなければならない。													
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	A	事業成果・工夫した点	事業の苦勞した点・課題	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	地元、神社宮司等を説得でき、松の木の処分が完了した。これにより、緊急車両等の通行がスムーズに行えることとなった。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。									5		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。										3	
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3										
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。									5		
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。										3	
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題		14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。							3					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。								5				
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。						4		合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。							3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。											
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3											
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。		4										
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。			3									
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B		事業の苦勞した点・課題	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。				3									
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。							3						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
			安心して遊べる遊具の点検は確実にいき、事故を未然に防ぐこと。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場として公園利用ができるよう、適切な管理運営をお願いしたい。 実施した修繕工事等の内訳を評価シートに記載すると分かりやすい。 最近は大失われつつあるが、公園にはコミュニティ育成に寄与する機能がある。その意味でもしっかり管理をお願いしたい。 指標は有料施設の利用者のみである。無料の公園管理も事業として実施していることを鑑みると、指標の再検討が必要かと思う。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。	コメント欄 引き続き、適正な管理を行うとともに、評価シートの記載については、指標も含め、もっと分かりやすく見直すこと。